

### 〈熊本テクノポリスを支える研究開発〉

テクノポリスは、先端的な技術の研究開発によって支えられます。

県内の企業が先進的な技術に取り組み、その技術水準を向上させることは、テクノポリス構想推進にあたって最も重要な課題です。これに応えるため、電子応用機械技術研究所が建設されます。この研究所は地元大学などの協力を得ながら、A（応用機械）、C（電子機器）、D（情報処理）産業についての先端技術分野に属する開発研究を行い、また技術情報の提供や人材教育なども行います。このような研究所の活動を核として、先端技術産業の分野についての研究開発の基盤は、飛躍的に強まっています。

また、バイオテクノロジー分野でも、地元大学や民間研究所の研究体制や施設の充実も進み、更にテクノ回廊には民間の強力な開発型研究所の立地が既に具体化しています。これを中心にバイオテクノロジー関連の研究施設が集まり、緑に囲まれた研究所公園「バイオの森」として整備されていくことを見通すことができます。

熊本テクノポリスは研究者、技術者が活発に交流し合い、新しい技術、価値、そして新しい文化を創造する研究開発によって、力強く支えられます。

